

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 西脇中学校
校長氏名	田中 文規
作成日	令和 8 年 2 月 24 日

1 教育目標

共に 豊かに 生きる

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	①全国学調生徒質問紙で平日の家庭学習を1日3時間以上率の向上 ②全国学力習状況調査の正答率の向上	①「学校が楽しい」(生徒80%) ②「自分には良いところがある」(生徒肯定的70%) ・いじめの問題解消率100%	①朝ごはんを食べた(生徒90%) ②ネットの利用時間が短くなった(生徒70%) ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)	①学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ②中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)
重点目標	◎基礎・基本の確かな定着 ◎「学び合いの授業」の推進 ◎家庭学習の定着 ◎読書活動の推進	◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎仲間づくりの実施	◎体力向上の推進 ◎運動部の活性化 ◎基本的生活習慣の確立	◎家庭・地域との連携充実 ◎小中の接続、中学校区における学校間連携の推進 ◎地域の資源活用の推進
取組の状況	○「学び合いの授業」による授業改善で一人ひとりの学びを保証し、個に応じた学力の伸長を目指す ○校内研修を通して教員全体の授業力を向上させることで生徒の学びを支援する	○道徳の授業を充実させる ○いじめアンケートを年間3回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学ぶ機会をもつ	○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する ○体育祭、マラソン大会、駅伝部の練習等学校全体で体力の向上に取り組み、その成果を称える ○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する	○各種通信、ICTを通して学校の予定や学校生活の様子を積極的に発信する ○教科学習での取組を地域の資源として活用する(共育コミュニティとしての取組) ○磯の浦海岸清掃、吹奏楽部や科学技術部、JRC部、美術部の活動で地域と連携する
取組の成果と課題(評価)	【成果】 指標① 目標 5%UP 結果 3.2%→11.6% 指標② 目標 県平均以上 結果 県平均を下回る 【課題】授業の工夫改善と家庭学習の意識付けが必要である	【成果】 指標① 目標 80% 結果 89.2% 指標② 目標 75% 結果 88.4% 【課題】1年生から進路学習の実施	【成果】 指標① 目標 90% 結果 86.7% 指標② 目標 全国平均以上 結果 全国平均を下回る 【課題】家庭とも連携しながら取り組みを継続し、意識向上を図る。	【成果】 指標① 目標 90% 結果 75.2% 指標② 目標 10回以上 結果 15回以上 【課題】取組の検証を行い、発展させる。
改善方法	○「きのくに学力定着フォローアップ」事業を継続し若手教員の授業力向上を目指す ○補充学習に取り組み、基礎・基本の定着を図る ○家庭学習の習慣獲得のための取組を行う	○人権教育に関する研修を継続する ○情報モラル指導を充実させる	○基本的生活習慣や体力向上についての啓発を進める ○交通安全指導・防災教育の充実を図る	○保護者に学校の様子を伝える方法を工夫する ○共育コミュニティ事業との連携の継続発展

3 その他の課題

国語・数学の授業が好きと回答する生徒や授業がよくわかると回答する生徒の率的には低くないが全国学習状況調査や実力テストの結果に結びついていないのが課題である。
学習習慣・学習意欲の面でも二極化現象も見受けられる。(高校入試に向けて変ってきている)